**第１７回登別市市民自治推進委員会　ぬくもり部会議事録**

（敬称略）

◆ 開催日時：平成３０年１０月１１日（木）　１８時００分～

◆ 開催場所：登別市役所２階　第１委員会室

◆ 出席部会員：部会長　 田渕　純勝

　　　　 　　部会員　 鎌田　和子

佐藤　画美

　　　　　　　　　　　　 梅田　秀人（協働推進庁内委員会部会長）

 【保健福祉部次長】

平田　雅樹（協働推進庁内委員会副部会長）

【保健福祉部子育てグループ総括主幹】

◆ 欠席部会員：副部会長　雨洗　康江

　　　　 　　部会員　 今　順子

　　　　　　　　　　　　 岩浅　眞純

◆ 事　務　局：　　　　　笠井　康之【市民生活部市民協働グループ総括主幹】

　　　　　　　　　　　　 塚崎　翔太【市民生活部市民協働グループ主任】

◆ 議　　　題：今後の部会における取組内容について

● 会議の要点

【第３期基本計画に係る事業の進捗状況確認について】

・第３期基本計画の中の、ぬくもり部会に係る事業の進捗については、事業を指定すれば担当グループに部会に来てもらって説明を受けることができる。

【今後の部会における取組内容について】

・前回の話し合いでは、高齢者や障がい者、子どもなどを対象に、生きがいや社会参画のきっかけ、相互交流の機会を提供する事業を行うべきとの意見が出たため、本日は具体的な事業内容について協議する。

・セミナーなどにはあまり人が集まらないが、色々な世代が参加できるイベントなら家族での参加が見込める。物を売るだけでなく食に関する体験を提供したり、ブースを出して人に何かを教えたりするなど、身に付けたものを披露する場とすれば提供する側の生きがいにつながる。

・部会の独力で新たなイベントを立ち上げるのは大変なので、各委員が所属する団体で行っている既存の取り組みの中から協働できるものを探してみてはどうか。

・本日欠席の岩浅委員が大きな施設を持っており、そこを会場として高齢者・障がい者・子どもが農業体験を通して生きがいを得るという事業が考えられる。

・同施設では、子どもが野菜の種を植えて秋に収穫し、取れた野菜を使った調理等を行う、という事業が既にある。また、冬にはそり滑りや、雪を題材にしたイベントがあるため、それらの行事に便乗するのも一案である。

・同事業では参加者に保険をかけるため５００円程度の参加費を徴収している。

・若山団地の高齢者が同施設でボランティアを行っているほか、青嶺高校の校長は生徒が校外の事業に参加することに前向きで青葉町内会には声もかけられている。幼稚園との協働も案としては考えられ、幅広く外部団体と協力すると良い。

・北斗文化学園には介護の養成校があり、福祉を目指す学生がいるため、ボランティアで事業に参加してもらえる。

・同施設では障がいのある方が働いているので、その方たちとの交流があってもいい。事業の下準備をお願いするのも良いかもしれない。

・一度岩浅さんから最近の状況や既存の事業について聞き取りをする必要がある。

・事業が具体化したら他の部会にも声をかけられるかもしれない。

・何らかの事業を行えば反省点が出てきて、事業内容を改善していける。

・まず田渕部会長が岩浅委員に今回出た案について打診し、次回の部会において、施設や事業について説明していただく。

・来年度の予算要求を行う時期であるが、ある程度事業が具体化しないと予算は要求できない。

・参加者から費用を徴収する前提であれば予算を持っていなくても問題ないと思われる。

・参加意識を持ってもらうためには最低限の参加費を徴収するべき。無料で参加できるというのは良くない。

・平成３１年度分については予算要求をしないこととする。

【次回について】

●今後の部会における取組内容について

日程：未定